

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	64	66	68	65.5	
	1㎡当たりコスト（円）	20,596	19,980	20,094	19,742	
備考	1㎡当たりコストが前年と比較して△352円減少しているのは、行政費用合計が前年と比較して△1,558千円（△1.8％）減少しているためである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	がん検診・乳幼児健診 受診者数	目標値	30,022	29,891	29,739	29,600
		実績値	27,274	27,577	26,817	26,653
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	○ 有（変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ						
現状・課題	○本施設は鉄筋コンクリート（RC）造・地下2階地上4階建ての構造であり、平成3年の竣工から35年が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいる。 ○庁舎の維持管理に当たり、冷温水発生器取替え（平成24年度）、冷却塔取替え（平成26年度）、電話交換機取替え（平成29年度）、南面外壁改修工事（令和5年度）、昇降機改修工事（令和6年度・令和7年度）を随時実施してきたが、設備機器等の不具合が定期的に発生している状況である。 ○健診時、一か所に健診者が集中するため、発災時の避難誘導に注意が必要である。 ○がん検診の区内医療機関への委託化により、令和8年度の本施設の受診者数は減少する見込みである。また、令和8年度をもって本施設でのがん検診業務が終了するため、円滑に委託化を進める必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○荒川区公共施設等総合管理計画に基づき、施設の適切な運営と管理を行う。 ○設備の不具合や雨漏りに対し、適切に対策工事を実施していく。 ○発災時にスムーズな避難誘導が行えるように、避難誘導訓練や消防訓練を実施する。 ○がん検診を令和9年度から区内医療機関に円滑に移行できるように、令和8年度は本施設と区内医療機関の両方で実施する移行期間を設けるとともに、区民への周知、医師会との連携を進めている。					
議会、利用者等からの意見						

